

第7次 沖縄県 医療計画

住み慣れた地域で安心して暮らしていくために

沖縄県医療計画とは

沖縄県では、すべての県民が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な医療が適切に提供される体制を確保するため、県民、関係機関、関係団体等が本県の医療に係る現状と課題を共有し、ともに必要な取組を推進するための指針として、第7次沖縄県医療計画を策定しました。

医療計画では、医療法に定める国民の健康の保持を図るために特に広範かつ継続的な医療の提供が必要な5疾病(がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患)と医療の確保に必要な5事業(救急医療、災害時における医療、へき地医療、周産期医療、小児医療)及び在宅医療について、目指すべき姿を設定し、その目標に向けて取り組む施策を記載しています。



目指すべき姿

地域において必要となる医療提供体制の確保を実現するため、設定した目指すべき姿における施策の取組状況について、進捗評価を行い、より効果的な取組となるよう、施策の改善を行います。

県民一人一人が心がけること

適切な医療提供体制を実現するためには、医療を受ける側である県民一人一人の役割も重要です。日常的な診療は、身近な診療所等の「かかりつけ医」で受診し、病気の予防や早期発見、早期治療に努めることが大切です。万が一、病状が悪化した場合でも「かかりつけ医」から専門的な治療ができる適切な病院等を紹介してもらうことができます。

また、在宅医療の充実によって、人生の最後の時期に、自宅などの住み慣れた場所で医療を受けながら過ごすことが選択できるようになります。健康なうちから、人生の最後の時期をどう過ごすか、どのように過ごしていくかを考え、家族とも話し合っておくことが大切です。



5疾病5事業及び在宅医療の医療提供体制

Table with 2 columns: Disease/Service and Target Posture (目指す姿). Rows include Cancer, Stroke, Heart Disease, Diabetes, Mental Health, Emergency Care, Remote Area Care, Perinatal Care, Pediatric Care, and Home Care.

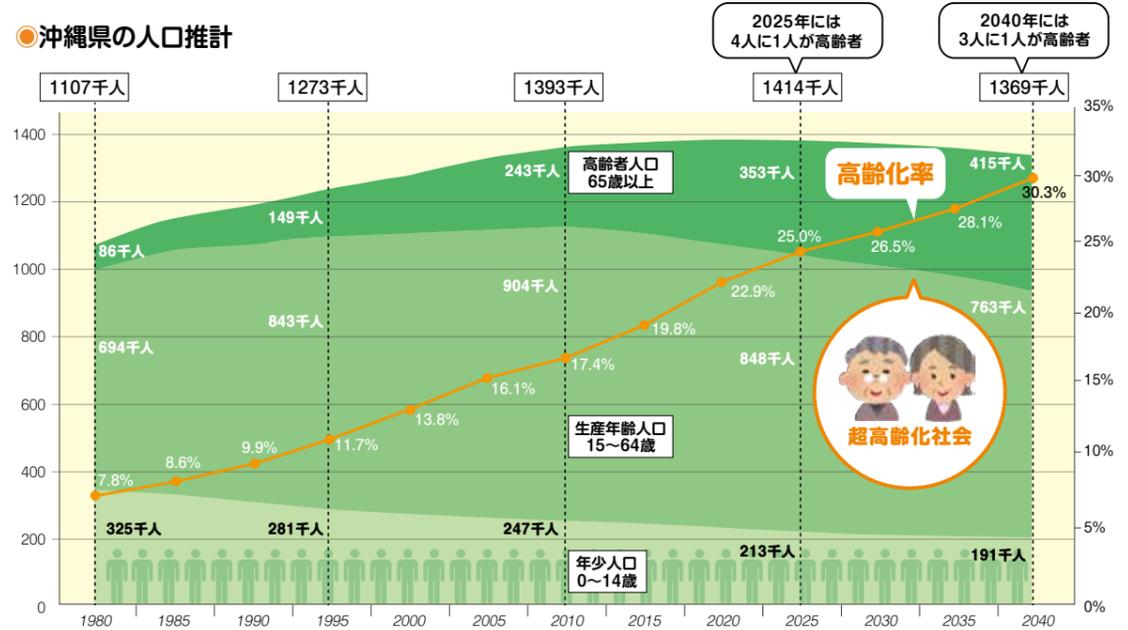


課題及び基本方向

- ①人口構成の変化
②死亡率、平均寿命の改善
③効率的で質の高い医療連携体制の構築
④保健、医療、福祉の連携体制の構築

これからの超高齢化社会に対応するため、医療と介護の連携強化など、自らが望む場所で療養生活が送れる体制の構築に取り組みます。

沖縄県の人口推計



沖縄県の平均寿命の全国順位の推移

Table showing the ranking of Okinawa's average life expectancy in Japan from 1985 to 2015 for males and females.

沖縄県の死亡率の全国順位(平成27年)

Table showing the ranking of Okinawa's death rate in Japan for various age groups in 2015 for males and females.



問い合わせ 医療政策課 電話：098-866-2111 FAX：098-866-2714

もっと、こ・え・か・け 注意! 注目! 熱中症!!



もっと、こ・え・か・け 注意! 注目! 熱中症!!

